

きたひろしま 議会だより

vol.
49
2017.8.1



●主な内容●

6月補正予算の概要	2~3
議案に対する質疑討論	4~5
議長あいさつ・議長日程	6
議会日程・豆知識	7
一般質問 町政をただす	8~15
災害特集 あとがき	16

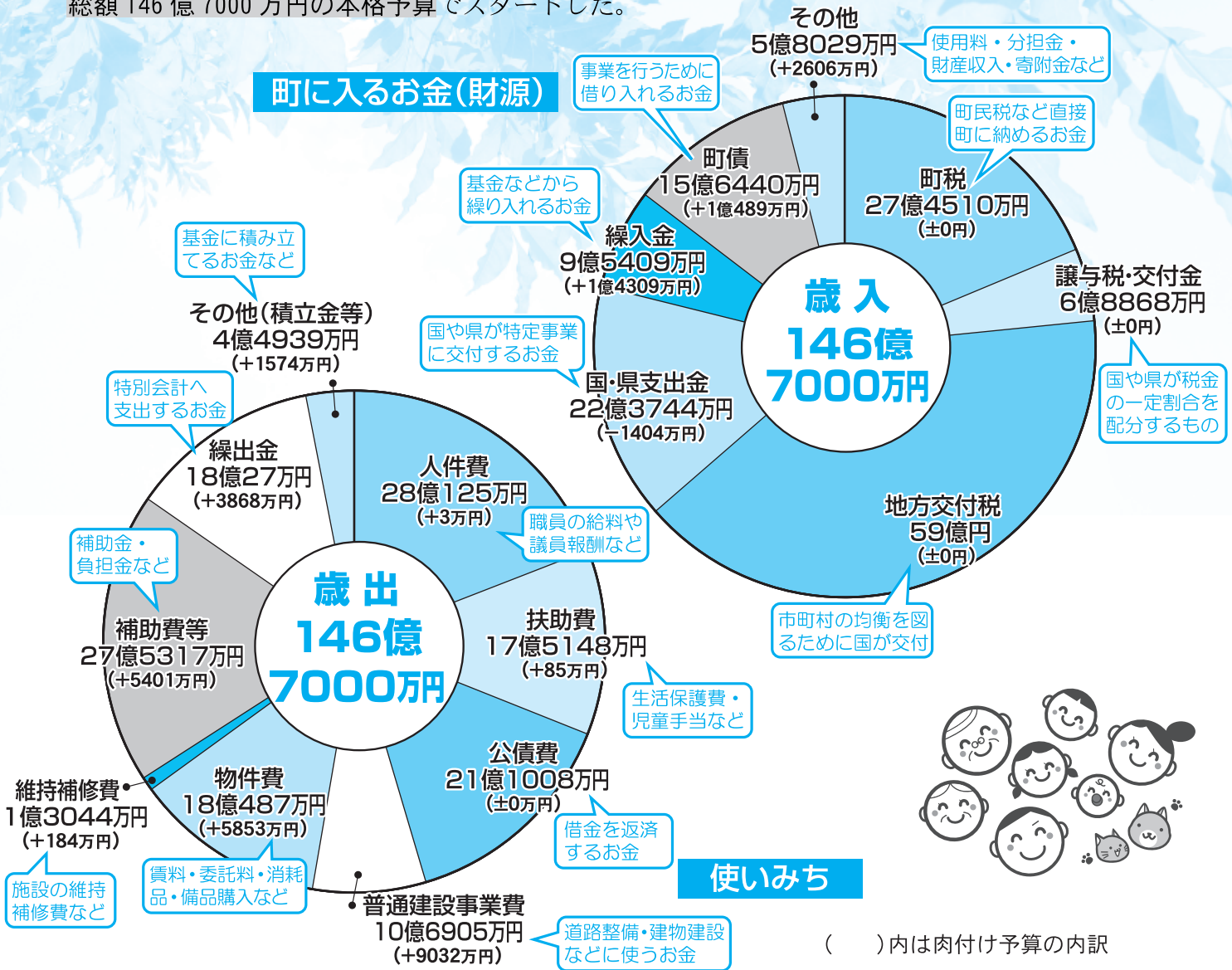
亀山八幡神社での撮影会

平成29年度一般会計本格予算146億7000万円

骨格予算**144億1000万円**に
政策的経費等の肉付け予算**2億6000万円**を加え、
本格予算が決まる。

3月に町長選挙、議会議員選挙が実施され、初めての定例会が6月13日～6月23日まで開催された。

町長から施政方針が示されたのち、一般会計2億6000万円の肉付け予算を原案どおり可決し、総額146億7000万円の本格予算でスタートした。



予算審査特別委員会報告

委員長 中田節雄

地方交付税の減額、合併特例債の期限など厳しい財政状況の中、事業の選択と集中、業務の効率化、経費削減等を徹底的に進めながら、限られた財源で最大の効果が上がるよう求める。

本年度は、第2次長期総合計画に基づく新たなまちづくりのスタートの年でもある。委員会の中で出された、多くの質問、意見、要望、提案等を真摯に受け止め課題解決に向けて知恵をしばり危機感・スピード感を持って取り組んでいくよう求める。

平成29年度 6月補正概要 一覧

(単位：万円)



プロジェクトに共感した方がインターネットを通して寄付金を送ります。寄付金は北広島町への「ふるさと寄附」として扱い、金額に応じた返礼を行い、プロジェクト推進のために使われます。

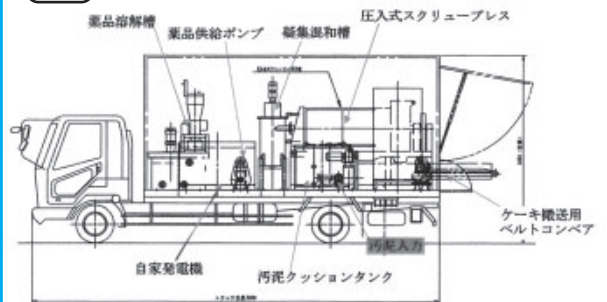


北広島町にある古民家を改装し、すぐに住めるようにした住宅です。町外から移住を考え、地域を知るきっかけとなります。

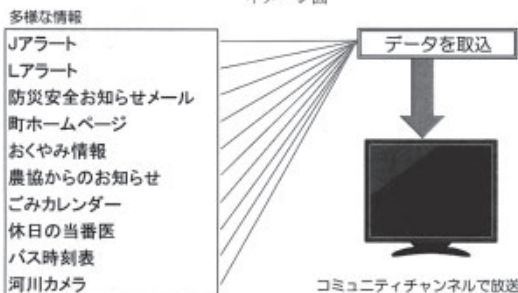
一般会計	内訳	主な内容	
(補正1号)	新規	気象観測装置再検定費	533
	肉付け	防犯カメラ購入費	100
	肉付け	消防団消防車両購入費2台	1,904
	肉付け	地域集会所維持修繕工事費	603
	① 新規	きたひろ応援ファンド交付金	500
	肉付け	コミュニティホーム整備費補助金	326
	肉付け	協働のまちづくり推進事業費	785
	肉付け	デマンド交通調査検討業務費	1,041
	② 肉付け	お試し住宅整備事業費補助金	500
	肉付け	企業立地奨励金	2,345
	新規	農山村体験推進協議会貸付金	800
	新規	西部衛生組合事務継承分負担金	1,027
	新規	担い手育成総合支援事業費	150
	肉付け(1,500)	農業基盤整備事業費	2,700
	肉付け	林道整備事業費	2,570
	新規	除雪機械購入費	1,010
	肉付け(9,300)	道路新設改良事業費	△ 1,644
	肉付け	橋梁補修設計、長寿命化計画策定費	1,734
	肉付け	耐震改修促進計画策定委託費	570
	肉付け	町営・町有住宅修繕費	1,409
	肉付け	山麓庵屋根茅葺替委託料	257
	肉付け	万徳院跡歴史公園森林整備費	550
	肉付け	ササユリの里再生プロジェクト事業費	126
		予備費ほか	6,104
		合計	26,000

(単位：万円)

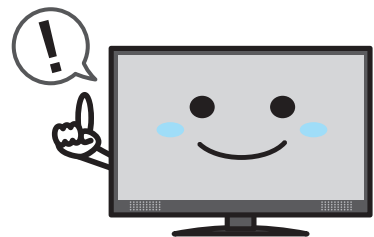
特別会計	内訳	主な内容	
下水道事業 (補正1号)	新規	移動脱水車購入費 ③	11,309
	肉付け	下水道台帳作成費	1,839
		予備費ほか	2,152
農業集落排水事業 (補正1号)	新規	管路清掃委託費	200
		予備費ほか	300
介護保険 (補正1号)	肉付け	地域介護予防活動支援事業費	6
		基金積立金	97
		過年度国費等精算ほか	997
電気事業 (補正1号)	新規	蓄電池更新委託費	610
		予備費	△ 10
情報基盤整備事業 (補正1号)	肉付け	データ放送導入改修委託費 ④	2,376
		予備費	24
後期高齢者医療 (補正1号)		過年度保険料還付金	45
		予備費	△ 45
	合計		19,900



浄化センターでは、下水の処理により汚泥が発生します。大朝と新庄の浄化センターは、その汚泥処理を1台の移動脱水車でを行っています。この車は、汚泥を脱水処理するための機械を載せています。



きたひろネットコミュニティチャンネル(11ch)に、防災や気象、北広島町の行政情報などを放送します。(番組内容の詳細については、現在検討中です)



賛成・反対一覧表

討論① 工事請負契約の締結について(旧芸北中学校校舎等解体工事)

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	可決

Q & A (質疑・討論)

Q 旧芸北中学校校舎・寄宿舎・体育館3つとも全て解体か。
A 全て解体する。
Q 解体事業者をなぜこの会社へ落札したのか。

A 入札率において70.9%。実績もある。
Q 中小企業・小規模企業振興基本条例にある町内の事務所、または事務所を有する者を対象とした条例に沿って、入札は行われたのか。
A 町内業者を対象に一般競争入札で発注した。

Q 実態について産業振興会議の設置はいつか。どのような形で設置をするか審議していくべき。委員も公募することに間違いはないか。
A 商工観光課と商工会との協議を進める予定である。

討論② 北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決

反対討論

美濃孝二

マイナンバー制度は
 ①プライバシー侵害やなりすまし犯罪を常態化させる。

②システム改修費が必要。
 ③行政も住民も負担が増えるがメリットがほとんどない。
 ④番号の漏えいにならない。それだけでなく「共謀罪」成立でマイ

ナンバーを通じて個人情報が見出しが捜査当局に流れる危険が一層拡大した。多くの問題があり容認できない。

討論③ 核兵器禁止条約の「早期締結」を求める意見書採択のお願い(陳情)

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	可決

反対討論

亀岡純一

○人道的な見地から絶対的に核兵器のいらない平和な世界を目指していくべきであり、「核兵器禁止」を訴える事には、何ら反対するものではない。「核兵器禁止条約」は核兵器保有国と非保有国との対立を深め、核軍縮に逆効果に

なりかねない。政府としては、会議不参加を表明。現時点での意見書採択には反対である。

賛成討論

美濃孝二

○核保有国や「核の傘」に依存する国々は、禁止条約を「安全保障にとって有害

だ」などと批判している。そのため、「核兵器のない世界の実現に向けて、戦争被爆国として、これまで以上に力強いリーダーシップを発揮するように」と求めることは、極めて時期を得たものである。広島を政府に届けるもの

討論④ 核兵器禁止条約の「早期締結」を求める意見書の提出について(発議)

浜田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	●	●	●	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	可決

反対討論

亀岡純一

○現在、約15,350発もの核兵器が存在している。世界が安定した状態を保ちつつ、早く無くしていくべきと考える。今回の条約は、核軍縮に逆効果になりかねないため「核兵器不拡散条約」等の「核保有国」と「非保有国」の双方が参加して議論できる枠組みで日本がリードしていくべきと考える。本町議会としてこの意見書の提出に反対する。

回目の夏を迎える。戦争に関係のない一般市民が多く犠牲となり亡くなった。死は免れても放射能の後遺症で苦しめられている。唯一の被爆国、被爆県が亡くなった人たちの無念を今こそ伝える責任がある。

反対討論

伊藤 淳

○核兵器のない世界は万人の願いである。私自身も被爆3世であり、思う部分が多々ある。核兵器禁止条約において日本政府は反対票を投じている。私達議会の持つ情報と国の持つ情報では違いがあることを認識すべきである。「国益

を考えると反対を投じた背景があったと考える。よって採択に反対である。

賛成討論

服部泰征

○核保有国の中にも、核を持っていることに不安を抱える方は多いのではないかと。この条約が締結され、広がっていけば、おのずと保有国にも広がっていくとも考えられる。

現在も原爆で苦しんでいる方がおられる。その方々の願いは、やはり戦争を無くすこと。この条約が締結されても戦争は無くならないが、その一歩にはなると思う。

賛成討論

梅尾康文

○広島・長崎に原爆が投下されて72

平成29年 第2回・3回臨時会および6月定例会 議案審査の結果

審議日程	議案・提案・発議名	全員一致	不一致	結果	質疑討論
4月27日 (臨時会)	専決処分の承認を求めることについて(北広島町税条例の一部を改正する条例)	○		可決	
	専決処分の承認を求めることについて(北広島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○		可決	
	工事請負契約の締結について(どんぐり荘改修工事)	○		可決	
	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	○		可決	
5月15日 (臨時会)	工事請負契約の締結について(旧芸北中学校校舎等解体工事)		●	可決	討論①
6月23日 (定例会)	一般会計補正予算(第1号)	○		可決	
	下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	電気事業特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	情報基盤整備事業特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	工事請負契約の締結について(大朝体育館耐震補強及び改修工事)	○		可決	
	北広島町農業委員会委員の任命の同意について	○		可決	
	北広島町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例	○		可決	
	北広島町行政手続条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例		●	可決	討論②
	過疎地域自立促進特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町分担金徴収条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町町道に設置する道路標識の寸法等に関する条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町老人集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例	○		可決	
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○		可決		
県道拡幅・一部改良等予算の拡充を求める意見書の提出について	○		可決		

審議日程	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果 上:陳情 下:発議	質疑討論
6月23日 (定例会)	核兵器禁止条約の「早期締結」を求める意見書採択のお願い、提出について	非核の政府を求める広島の手		●	採択	討論③
				●	可決	討論④
	町内巡回バスの地域内運行を求める請願	石井谷地域振興協議会会長 益田 英樹	○		採択	
	通学路の街灯整備の陳情	細見区長 小笠原 登 ほか3名	○		採択	
	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書、意見書の提出について	「軍事費を削って、くらしと福祉、教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 八幡 直美	○		採択	
			○		可決	
	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	北広島町職員労働組合執行委員長 寺川 浩郎	○		採択	
			○		可決	
	大佐山から八幡高原にかけて計画されている(仮称)大佐山風力発電建設反対に関する請願、決議について	八幡高原の景観と環境をまもる会代表者 川内 信忠	○		採択	
			○		可決	
	地方バス補助の上限引き下げに反対する意見書の提出について	社民党広島県連合 大瀬 敬昭	○		採択	
			○		可決	
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択についての陳情書、意見書の提出について	広島県教職員組合 山県・安芸高田支区 山県ブロック 委員長 大久保 明信	○		採択		
		○		可決		
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出について	社民党広島県連合 大瀬 敬昭	○		採択		
		○		可決		

議長あいさつ



7月初旬の集中豪雨により福岡、大分をはじめ全国各地に甚大な

災害をもたらしました。多くの尊い命を奪い、いまだに行方不明者が多くおられます。本町においても1名の方が亡くなられました。また芸北地域を中心に豪雨災害は約700件ののぼります。亡くなられた方々に心よりご冥福をお祈りし、災害にあわれた方々にはお見舞い申し上げます、一日もはやい復旧を促すことが責務と思っております。

さて、北広島町議会は、先に施行された町議選において、新人6名を加えた16名の新体制となり、臨時会、6月定例議会が終了しました。

議会に対する町民の皆様の声が数多く寄せられ、関心の高さ

をうかがい知ることができま。本町には、幾多の問題、課題が山積しております。少子高齢化にともなう人口減は永遠の課題であります。我々は、産子から高齢者まで安心して暮らせる、まちづくりを基本理念として、住みよい環境づくりを行政と取り組み、成果を出さなくてはなりません。

行政に対して、斬新な発想を取り入れた政策提案をし、常任委員会の強化、積極的な特別委員会設置を行い、躍動感ある議会にすること。議員の重要な使命として、町民の声の代弁者として、その声をいかに町政に反映させるかが肝要です。

町民により信頼される「日本一住みやすいまちの実現」を一つりあげる議会を目指します。多くの声をお待ちしています。

北広島町議会議長日程

4月	5日	議長・副議長就任あいさつまわり	5月	14日	大花田植（新庄のはやし田）
	6日	広島新庄学園入学式		15日	北広島町商工会工業部会通常総会
	7日	各中学校・高校入学式		17日	平成29年度北広島町商工会建設業部会交流会
	8日	新地さくらフェスタ		18日	広島県町議会議員研修会
	9日	第24回今田城こぶし祭り		19日	広島県内陸部振興対策協議会理事会
	10日	議長就任あいさつまわり		東京広島県人会創立70周年懇親会	
	14日	北広島町酪農団体連絡協議会親睦会		北広島町商工会第11回通常総代会	
	15日	平成29年度第11回北広島町商工会青年部通常総会		21日	原東大花田植・泥おとし祭
	16日	広島新庄学園理事長退任・就任式		25日	オリンピック・パラリンピック広島キャンプ推進大会
	18日	広島県町議会議長会定例議長会		26日	広島県建築士事務所協会法人設立40周年記念大会
5月	23日	第16回万徳院春を食べるかい！	6月	北広島町観光協会第1回通常総会	
	23日	第66回広島大朝会「ふる里の集い」		27日	北広島町地域農業集団連絡協議会総会・研修会
	25日	北広島町空家等対策協議会		28日	第32回広島千代田会総会・懇親会
	26日	広島県町議会議長会新人等研修会		30日	北広島町シルバー人材センター平成29年度定時総会
	28日	地域安全会議		31日	平成29年度町村議会議長・副議長研修会
	29日	2017わさまち（大朝春市）		北広島町観光プロモーション実行委員会・研修会	
	3日	広島新庄学園創立108周年記念式典		4日	壬生の花田植・無形文化財合同まつり
5月	9日	大朝ブロック教育推進研究会総会・懇親会	6月	11日	第53回広島豊平会総会ならびに懇親会
	12日	広島県町議会議長会役員あいさつまわり		広島県立加計高等学校芸北分校後援会・同窓会懇親会	
	13日	平成29年度北広島町公衆衛生推進協議会総会		12日	広島県内陸部振興対策協議会総会及び50周年記念式典
	千代田中学校体育祭	13日		定例会（13日～23日）	

北広島町議会日程

4月

25日 火 産業建設常任委員会

27日 木 臨時議会(10:00～)

5月

8日 月 文教厚生常任委員会

15日 月 臨時議会(10:00～)
文教厚生常任委員会

6月

2日 金 議会運営委員会

13日 火 本会議(開会 提出議案説明)
全員協議会(本会議終了後)
常任委員会

14日 水 予算審査特別委員会(説明)
常任委員会(予算審査特別委員会終了後)

15日 木 常任委員会

16日 金 常任委員会

19日 月 予算審査特別委員会(審議・採決)

20日 火 本会議(一般質問)

21日 水 本会議(一般質問)

22日 木 本会議(一般質問)
合同常任委員会(本会議終了後)

23日 金 本会議(審議・採決)

議会に関する豆知識

今回は、公職選挙法に関係した「寄附」のお話です。

①政治家の寄附の禁止

政治家(候補者も含む)が選挙区内にあるものに対して寄附をすることはできません。ただし、次のものは除きます。

- 1 政治家本人が自ら出席する結婚披露宴の祝儀
- 2 政治家本人が自ら出席する葬式や通夜の香典

②政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止

政治家に対し、寄附をするように勧誘や要求をしてはいけません。

③政治家の関係団体の寄附の禁止

政治家が役員、構成員である団体、会社が、選挙区内にあるものに対して、政治家の氏名を表示したり、氏名が類推されるような方法で寄附をすることはできません。(政党に対するものは除かれます。)

④後援団体の寄附の禁止

後援団体(いわゆる後援会)が選挙区内にあるものに対して花輪、供花、香典、祝儀その他これらに類するものを出したり、後援団体の設立目的により行う行事や事業に関する寄附以外の寄附をしてはいけません。

一般質問

15議員が町政をたず

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
8	梅尾泰文	①民生委員・児童委員さんお元気ですか ②エコエネルギーの普及状況は ③災害時対応は万全か	12	服部泰征	①地方自治体における、働き方改革への取り組みについて ②北広島町民の安心した生活を守る取組み(健診や予防接種など)について ③地域間における利便性およびサービスの格差について
9	中田節雄	①町長公約である「担い手大学」について伺う ②国家戦略特別区域(農地法3条)の指定について ③老朽化した「千代田中央公民館」の施設整備の予定は	12	湊泰文	①箕野町政の二期目のスタートにあたって ②基幹道路の整備について
9	伊藤淳	転入を増やすために行っていくイメージ戦略を問う	13	森脇誠悟	町内企業と連携した地域振興、過疎化対策を
10	敷本弘美	①ヘルプマーク・ヘルプカードの普及促進について ②小中学校のトイレ整備について	13	美濃孝二	①太陽光発電等に環境と景観、暮らしを守る条例・ガイドラインを ②県広域化で国保税の大幅値上げ、力尽くし「払える保険料」に
10	室坂光治	火災から人命財産を守ろう	14	宮本裕之	①グローバルGAP(農業生産工程管理)認証取得について ②「北広島町景観条例」の早期制定を
11	大林正行	①未来の北広島町を担う「ひとづくり」を問う ②健康ポイント制度の導入を	14	真倉和之	①北広島町の農業振興の諸課題を聞く ②新学習指導要領について
11	山形しのぶ	公立放課後児童クラブの開校時間の改正を	15	亀岡純一	人口減少の克服に向けた取り組みについて
			15	浜田芳晴	次世代を考えるパート⑧

梅尾泰文議員

民生委員・児童委員さんお元気ですか

今後元気で担ってもらえるようにしたい



- 問** 民生委員・児童委員さんは地域にとって、なくてはならない存在である。しかし職務が広範囲であるため、なり手が少ないようだ。選任と年齢職務はどうか。
- 答 福祉課長** 地域の区長さんと相談。年齢は概ね75歳まで。職務は地域の方の相談の聞き取り。
- 問** 相談事はどう扱うのか。
- 答 福祉課長** 行政や専門機関につなげる。
- 問** 相談内容によって、民生委員自身が悩むことになったらどうなるのか。
- 答 福祉課長** 行政が担当するか、一定期間、隣の民生委員にお願いする。
- 問** 民生委員として研修もされた、大切な職務である。元気で活動しても
- 問** 研修や活動報告は作成するののか。
- 答 福祉課長** 月1回の研修会、年数回の研修もある。活動記録は毎月報告される。
- 問** 手当はあるのか。
- 答 福祉課長** 民生委員はボランティア。交通費等の費用弁償はある。
- 問** 全国的に民生委員の、なり手が少なくなっている。いい手立てはないか。
- 答 町長** 民生委員・児童委員の皆さんには大変お世話になっていて。今後元気で担ってもらえることを考える。



中田節雄議員

町長公約である「担い手大学」について伺う

今年度は制度設計をしていく



問 次世代を担う後継者づくりが急務であるが、「担い手大学」の概要を伺う。

答 農林課長

農業・林業・まちづくりリーダー養成の制度設計をしていく。

問 誰を対象にしていくのか。

答 町長

地域で活動している方、次世代を担う方を対象にしている。

問 対象とされている方々の意見を聞くべきではないか。

答 町長

情報提供しながら、町政懇談会、町長対話室で意見を求めていく。

国家戦略特別区域（農地法第3条）の指定について

問 新規定住者の中には、

家庭菜園のための農地取得を望む方も多い。現在の制度では、取得ができない。農地法第3条の特区指定を受け、取得の下限面積を緩

和するべきではないか。

答 農林課長

神石高原町では、下限面積を1aとしており、本町農業委員会も見直す動きもある。

問 兵庫県養父市では、

特区の指定を受け、許可権限を市に移管し、許可までの日数を7日程度と大幅に短縮している。

答 町長

許可の短縮はメリットもあるが、リスクもあり検討を要する。

老朽化した千代田中央公民館の施設設備の予定は

問 現在の施設は、高齢

者には利用しにくい構造になっている。施設整備の予定はどうか。

答 生涯学習課長

現在の施設は、昭和46年の建築であり、今年7月にワークショップを立ち上げ、平成31年度を完成予定としている。

伊藤 淳議員

転入を増やすために行っていくイメージ戦略を問う

今後行う施策とともに、ブランド戦略を進める



問 町長の町外でのトップセールスと、町外に向けるイメージ戦略で統一されたブランドイメージを具体的に伺う。

答 企画課長

テレビ、ラジオを始めイベントなど多くの露出がある。正確な件数はわからない。

北広島町にはいろんな魅力・財産があるため、個々のブランドイメージがある。全体的なイメージを考えてもらうことを戦略としており、後付的なブランド戦略である。

問 観光として訪れた方

の意識を観光から転入先へと変える施策として何があるか、具体的に伺う。

答 商工観光課長

観光・移住先としての魅力を何度も知ってもら

うため、農山村体験推進事業を中心とした施策がある。

答 企画課長

暮らしを知ってもらう施策としてお試し住宅が始まり、体験ツアーを今後行っていく予定である。

問 転入に関する問い合わせの件数と、その内の

何件が転入をされているかを伺う。

答 企画課長

問い合わせは、各関係部署へ個別に相談されているので、全体の把握は出来ていない。企画課に設置されている定住相談窓口において、相談件数は平成19年度から28年度では延べ2216件、転入件数は平成18年度から28年度で延べ265件701人となっている。

敷本弘美議員

小中学校のトイレ整備を問う

状況を見ながら計画的に実施



問 小学1年生の女子の声から、学校のトイレが和式のためうまく出来ず、勉強に集中できない。帰宅するまで落ち着かず、学業の影響はもちろんのこと、健康面の心配もあり、不登校の原因にもなりかねない。学校生活に欠かせないトイレの問題、和式トイレが使えない子供が増えている現状や、災害時の避難場所となる学校施設のトイレ整備は緊急の課題である。和便器が主の小中学校におけるトイレ整備方針を問う。

答 学校教育課長

洋便器設置率が50%を下回っている学校から順次財政措置の状況を見ながら計画的に実施、検討をしていきたいと考える。

問 トイレ整備がされるまでの間、ポータブル式洋便器の対応を考えていないか。

答 トイレ整備がされるまでの間、ポータブル式洋便器の対応を考えていないか。

答 学校教育課長
学校と協議の上で要望があれば、ポータブル式洋便器で対応していきたいと考えている。

問 ヘルプカードは義足、人工関節使用、内部障害や難病、妊婦初期の人など困った場面で周囲の助けを必要とする人が携帯し、外出時、災害時など緊急連絡先や必要な支援内容を伝えるのに役立ち、障害を持つ人にとっては何よりの安心である。町としての考えを。

答 学校教育課長

非常に効果的である。多くの方に知っていたたく事が重要。積極的な対応を考える。

問 ヘルプマーク・ヘルプカードの普及促進を問う

答 ヘルプマーク・ヘルプカードの普及促進を問う



ヘルプマーク

室坂光治議員

火災から人命財産を守る対策

町民の生命財産を守るための対応



問 最近全国的にも火災が多く発生している。この10年間で豊平地域で火災により男性2名女性3名が亡くなられている。火災の原因は、「ごみ焼きの衣類着火」「ストーブの放射熱」「電気配線のショート」等である。火災報知機を設置しておられない家庭への設置の呼びかけ又、定期的な点検はどうするか。消防署からの講習会は検討してもらえるか。高齢化が進む中、近隣との関係も知っておく必要があるのではないか。

答 消防長

住宅用火災警報器の未設置住宅に対して1人暮らしの高齢者世帯には消防署が行っている防火訪問の際に、その警報機の必要性をご説明し設置していただくようお願いしている。きたひろネット

による動画放送、広報きたひろしまを活用した文字での広報、各種防火救急講習会・イベント等を活用して呼びかけを随時行っているところである。今年度からは民生委員の方を対象とした講習会を行い、より一層住宅用火災警報器の設置の必要性を地域へ設置・推進を行いたい。

問 講習会については火災予防の要望に対して実施している。

答 危機管理監

普段から地域やご近所でコミュニケーションをとっていただきお互いに見守りをお願いしたい。

答 町長

町としても町民の安心安全を守るために環境整備に向け、より一層努力していく。



大林正行議員

未来の北広島町を担うひとづくりは

地域づくりのリーダー育成から始める



問 ひとづくりに対する決意は。
答 町長
まちづくりは人づくりである。将来の北広島町を担っていくためには絶対これ成功させなくてはならない。

また、職員の人材教育の充実も図り、やりがいのある職場づくりを進めていく。

問 自主的な活動としてともだち大学など自己啓発に取り組んでいる活動に支援する考えは。
答 企画課長
内容を精査しながら人づくりという観点から研究する。

問 職員提案制度の活用状況は。
答 総務課長
職員提案制度は、職員による新たな提案、若手による柔軟な発想が町政に生かされ、職務に対する意欲を高め人材育成と組織の活性化に効果があると考

えている。具体的には今年度下半期の導入を目指し

て準備を進めている。

問 良い提案には報奨金を支給しては。
答 総務課長
報奨金やボーナス増は考えていない。

問 民間企業派遣研修の実施状況は。
答 総務課長
平成26年度から広島アン

デルセンへ3名程度約1週間派遣している。その中で民間経営の意識とサービ

健康ポイント制度の導入を

問 健康体操や健康診断などに参加した人にポイントを与え、特産品などと交換できる仕組みは。
答 保健課長
県の「ひろしまヘルス

ケアポイント制度」を活用するが、高齢者が健康づくりに取り組めるよう、町独自の高齢者向けポイント制度については今後研究する。



山形しのぶ議員

公立放課後児童クラブ開校時間の改正を

支援員確保に努め安心安全を目指す

問 放課後児童クラブの時間延長を求める声は。また声に対する対応は。
答 生涯学習課長
児童クラブ支援員から延長希望を聞いている。送迎が難しい場合は、ファミリーサポート利用を促している。

問 ファミリーサポート利用登録人数が少ない。制度内容の改善を考えるべき。
答 福祉課長
平成23年から開始した事業だが、実際会員が少なく県内の他市町でも会員件数が増えていない。広報誌やHPの充実、二

ーズの発掘に努める支援方法について柔軟に考えていく。

問 公立児童クラブで民間児童クラブと同じ時間で開校できないのはなぜか。
答 生涯学習課長
条例により土曜日と長

期休暇は8時から18時と決まっている。一番の要因は支援員を確保できないことである。児童の安心安全を見守ることのできる人材が必要である。

問 ファミリーサポートの方で地域の力になりたいと思う方もいる。サポートへの声かけや資格の確認を行い、人員の確保を。
答 生涯学習課長
人員確保に向けてこれまで以上に取り組む。

問 妊娠・出産・子育てまで切れ目ない支援を目指す町の取り組みについて町長の考えを。
答 町長
地域社会ぐるみでの支援が子どもの健やかな成長につながる。現在町として進めている子育て世代包括支援センターの設置に取り組む。



服部泰征議員

北広島町役場における働き方改革への取り組みは

事務業務の見直し及び進め方にて効率化を図る

問 前年度(平成28年度)の役場職員全体の時間外労働の合計は何時間で、それに対して支払われた金額は。また、最長となった方の所属と時間は。

答 総務課長

職員全体の労働時間は3万8千時間、支払われた時間外手当は9900万円。(消防職除く)

なお、最長者は大朝支所の方で、計833時間。

問 休日等に出動した場合は。

答 総務課長

基本的には振替えて代休とするが、規定日内に休みが取れない場合は時間外手当を支給する。

問 時間外勤務を減らすための効率化への取り組みは。(タブレット等の使用は考えているか)

答 総務課長

基本的には、事務業務の見直しや進め方について見直しを行う。タブレット等については、現時点では考えていない。

問 検診や予防接種についてインフルエンザや肺炎球菌など、予防接種の問診票や接種券に、氏名や生年月日等を印字してからの発行は可能か。

答 保健課長

そういった声は聞いている。既に行っている自治体を参考に研究する。

問 がん検診にも可能か。

答 保健課長

同様に研究を行う。

問 利便性及びサービスの地域差について

答 コンビニやドラッグストアなど商業施設が増えている地域と、全くない地域がある。住んでいる方が不公平とならないような対策は。

問 企画課長

人口や事務所が集積し、交通量が多い地域に増えるのは市場経済の原則。しかし、生活していく上での環境整備は必要。交通機関の整備、拠点の整備に、より一層取り組む。

湊 俊文議員

東京五輪のメキシコ事前合宿の誘致について

町としてはドミニカ共和国の誘致を目指す



問 東京オリンピック・パラリンピックのメキシコ合衆国事前合宿誘致でパドミントン、バスケットボールの誘致活動状況は。

答 生涯学習課長

子どもたちにもオリンピック選手への練習を目前で見せてやりたい。しかしメキシコのバドミントン、バスケットボールの誘致は県との協議で施設条件等が厳しく難しい。

問 町長

町としては独自で広島東洋カープ球団の支援を受け、ドミニカ共和国の柔道と陸上の2種目を誘致したい。機が熟せばドミニカ共和国を訪問したい。

問 箕野町政2期目について

答 箕野町政2期目のスタートでハード面の公共事業の考えは。

問 企画課長

財政との兼ね合いもあるが、新町建設計画事業に基づくギャラリー設置、

北広島町図書館の改修、千代田中央公民館と庁舎周辺事業を行う。

問 町長

町長の大胆で前向きなリーダーシップとトップセールスについて。

問 町長

町の重要事業、補助金等の獲得のため、町のトップとして国・県へ行動する。また、情報収集のための人脈づくりは必要で各方面に向いている。

問 基幹道路整備について

答 建設課長

新町建設計画事業にもある北広島町と隣接する市町との境、国道43号、及び主要地方道の千代田八千代線の道路整備について。

問 建設課長

県も予算の関係で進捗率は低い。毎年、町として県に道路整備の要望は上げていく。主要地方道千代田八千代線については平成32年度年内には完了すると聞いている。

森協誠悟議員

町内企業と連携した地域振興、過疎化対策を

企業支援員を活用し企業との連携を密にする



問 国においては、小規模企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、「小規模企業振興基本法」が制定され、本町においても、昨年6月「北広島町中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定された。

答 この条例に基づき、6月末に「第1回北広島町産業振興会議」が開催される。この会議に期待をしているが、委員構成・会議内容等を問う。

答 商工観光課長
公募委員3人を含め、商工会・金融関係者等19人で構成。第1回目の会議は、行政や商工会が進めている商工振興施策等の現状を報告し、今後は必要な商工振興施策等について協議していただく予定である。

問 本町の重要施策の一つである若者定住促進を図るためには、企業と連携して、町外から本町に通勤されている方に、本町の定

住支援策をもつと協力にPRするべきではないか。

答 企画課長
企業支援員の企業訪問により、空き家情報・定住助成金等の定住支援策の情報提供を行っているが、より効果上がるよう一層努力したい。

答 商工観光課長
昨年からは企業支援員とこれまで町内企業60社訪問し、企業ニーズの把握・情報提供等を行っている。

問 ニーズに迅速な対応を取ることは、すべての行政面において大変重要であり、基本的なことである。行政と企業が一堂に会して、企業ニーズ等共通課題の解決や地域振興に向けた議論をするための会議を、新しく開催する考えはないか。

答 商工観光課長
企業との意見交換・連携は商工振興に重要であり、今年度、企業と懇談会を計画している。

美濃孝二議員

太陽光発電から環境・景観守る条例づくりを

制定について早急に検討する



問 10kw以上の太陽光発電の町内の設置数は。

答 町民課長
449ヶ所。

問 昨年5月のFIT法改正で、適切な事業実施するため、新たな認定制度が創設され、違反すると認定取り消しが可能になった。

答 山梨県はガイドラインで、届け出や住民合意形成、事業者名等の表示、国のガイドラインにそって適正に撤去・処分するよう指示している。またパネルが直接見えないよう植栽やフェンス等で目隠しを行うよう求めている。

問 北広島町でも条例やガイドラインをつくってはどうか。

答 町長
早急に検討する。

問 八幡の風力発電計画を中止させるためには全町民の世論が重要。計画内容や町長の中止決断を、広報・きたひろネット

知らせるべきでは。

答 町民課長
町の意見書をホームページで知らせるよう準備している。

問 県単位化で大幅値上げの国保税、払える保険料に

問 来年から国保が広島県に広域化される。そのため年収360万円、4人家族で年間保険税が約10万円増え50万円近くになる。広島県は「県内どこでも同じ所得であれば同じ保険料にする統一保険料」にする計画だが、北広島町と広島市など医療サービスの水準に地域格差があり、元気づくりで医療費を下げてでも保険料に反映しないのは納得できない。少なくとも統一保険料を見直すよう県に求めてはどうか。

答 町長
県内同じ給与、家族構成であれば同じ保険料が公平であろう。



宮本裕之議員

北広島町景観条例の早期制定を

美しい景観を継承するためにも制定を目指す

問 現在、大佐山から八幡高原の島根県側に風力発電建設の計画が進められている。日本最大規模の風車もたらす人や生態系への影響は。

答 町民課長

環境省からの発表では風力発電の風車から発せられる騒音や低周波の人体への影響は低いとされており、明らかな関連は認められていないとされている。

問 本町及び広島県、環境省の対応は。

答 町民課長

本町としては、環境を配慮し建設反対の意見を県や環境省に届けている。県及び環境省も事業者に対し、景観や生物多様性を鑑み、計画の見直しを求める意見書が提出されている。

問 景観条例制定の考えは。

答 町民課長

西中国山地国定公園を持つ本町において、景観を維持することは重要であり、本町独自の景観条例の策定に向けて検討していく。

問 グローバルギャップ「GAP」農業生産工程管理の認証取得の必要性は

答 町民課長

東京オリンピックの食材には、ギャップの認証されたものしか提供できないとされており、また輸出においても有利に働くこと報道されているが本町としての考えは。

答 農林課長

農産物の生産工程で安全性を確認できるGAPの取得は、ブランド化にも繋がるもので認証取得の推進に努めていく。

真倉和之議員

耕作放棄地の解消策を聞く

解消策を具体的に協議する



問 町長の公約である耕作放棄地の発生防止で、北広島町の耕作放棄地の面積は何haで耕作面積の何%になり、耕作放棄地の解消策を聞く。

答 農林課長

農地面積4345.6haに対し平成28年度における農業委員会の調査で耕作放棄地は1885.3haで農地面積の4.3%である。耕作放棄地の解消策は今年8月以後農業委員会が農地パトロールを実施された後に具体的に解消策を協議して行く。

問 鳥獣被害防止特別措置法に基づく鳥獣被害防止実施隊の設置状況を聞く。

答 農林課長

今年4月に鳥獣被害対策実施隊を設置し隊員として地域の実情に精通されている有害鳥獣捕獲班員63名を任命した。

問 北広島町は多面的機能

問 交付金活動組織の広域化を進められ、農地カバー率は町全体では52%だが目標は何%のカバー率を考えておられるのか聞く。

答 農林課長

当面の目標は町全体で82%としている。

問 次期学習指導要領で小学校英語の授業時間数が増えるが文科省が示されている選択肢の中で時間の確保はできるのかを聞く。

答 教育長

教育課程の編成については北広島町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則で学校長が編成することとしている。



耕作放棄地

亀岡純一議員

人口減少克服への取り組みを問う

知恵を出し合って総合的に取り組む



問 人口減少の克服は、本町の未来を考えるうえで多くの問題解決につながる。町としての基本的な考え方は。

答 企画課長

①仕事づくりと産業の魅力の発信②定住の促進と次世代を担うひとづくり③結婚から出産・子育て環境の整備④地域資源を活かした活力ある暮らしの創出。これらの施策を相互に連携・補完させることで成果が出せると考えている。長期総合計画・総合戦略に基づき進めていく。

問 「孫ターン政策」は北広島町農山村体験推進事業とも相まって有効な手段になると思う。本町でも、さらに踏み込んで取り組んでみては。

答 企画課長

孫ターンに代表されるようなU・Iターンの促進等、本町でも活かしていきたい。単発の施策で

効果が出るというものではないので、本町の生活基盤、子育て環境から福祉関係等の基盤を整備した上で定住に向けた施策も研究していく。

問 家庭教育を支援する取り組みを、学校と家庭と地域、行政、町民全体で支えていく必要があると思うが、町としての考えは。

答 生涯学習課長
地域に根付き、未来を担うひとづくりを進めていくためにも家庭教育を支援する取り組みは必要。

答 教育長
家庭で育て地域で鍛え学校で磨くサイクルを取り戻したい。教育における家庭の果たす役割、その力・効果は、大である。

答 町長
転入者の増加をこれからまだまだ拡大していきたい。地域の皆さんと一緒に知恵を出し合って取り組んでいく。

浜田芳晴議員

次世代を考えるパート⑱

一定の成果と考える



問 稲作経営の担い手研修をした青年の独立時の農地の集積はむずかしい。青年の地域は、農委、認定農家、農業集団長などの理解が得られやすいとの思いでモデル事業にしたが、目的を達成したのか。

答 農林課長

地域の協力により約9haの経営規模で経営開始できたのは一定の成果と考えている。

問 達成したのであれば、次にモデルになりそうな地域をさがす為にも、地域での話し合いの場が必要なのは。

答 農林課長

担い手不在の集落等の情報を収集しながら、本事業の実施について検討したい。

問 ネットワークの協議会での取り組みは。

答 農林課長

地域農業に関する情報交換、担い手への農地集

積、耕作放棄地の発生防止、担い手間の連携等について取り組まれる予定である。

問 次世代の担い手対策は。

答 農林課長

優れた経営感覚を持つ担い手の確保と育成のため、引き続き新規就農総合対策事業を行うとともに集落法人や認定農家の支援をする。

問 親元就農がある経営主、研修生から法人の組合長になった例など見本になる。経営主の考えをまとめ、担い手ネットワークに提案し、担い手の必要性を示す必要があると思うが考えは。

答 農林課長

担い手ネットワーク等でこれらの情報を共有し、次の担い手を育成することとは重要であると考えている。

7月5日豪雨災害被害状況について

7月14日(金)現在

- 人的被害 1名
- 住家等被害
 - 床上浸水 2件
 - 床下浸水 41件
- 町道・河川被害
 - 町道 95件
 - 河川(町管理) 179件
- 農林業基盤被害 424件

※速報値であるため、今後の調査により件数の増減あり。



▲細見 上細見バス停待合室



▲大朝 グリーンヒル大朝入口手前



▲米沢

7月5日の豪雨災害について議会として、伊藤議長、浜田副議長、宮本産業建設常任委員長の3名が各地域の被害状況を視察しました。

北広島町議会として、今後も復旧状況を見守ってまいります。

表紙の写真



6月18日に芸北地区雄鹿原の亀山八幡神社周辺で(二社)二科会写真部撮影会に全国から約200名が参加され、花田植と芸北神楽をテーマにして開催されました。

当社は、古来、奥山庄18ヶ村の総社として尊崇されてきました。境内の杉は、樹齢400〜600年と言われ、連木という、一つの根から数本が生える珍しいもので町の指定天然記念物にもなっています。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】
議長 伊藤 久幸
【議会広報特別委員会】
委員長 亀岡 純一
副委員長 伊藤 淳
委員 敷本 弘美
委員 室坂 光治
委員 服部 泰征
委員 山形しのぶ
委員 湊 俊文

7月5日の大雨による災害に合われた方々、心よりお見舞い申し上げます。北広島町でも各地で大きな被害があり、現在も復旧に向けて取り組みが行われております。町民の皆様が1日も早く安心安全に生活できますように、議員一人ひとり皆様からの声や願いを伺いながら、全力で取り組んでまいります。引き続き皆様からの声を届けて下さい。復旧に向けて尽力させていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

あとがき